

MIDORI みどり

男子児童数	314名
女子児童数	314名
計	628名
(平成30年3月1日現在)	

発行	松山市立みどり小学校
PTA	新聞委員会
発行人	PTA会長 白方 仁
印刷所	アマノ印刷(有)
題字	(初代校長)長岡 芳朗

心から感謝

一年間をふりかえって

校長 三好 尊史

本誌の題字「みどり」を揮ごうされた本校初代校長 長岡 芳朗先生が、昨年5月に逝去されました。心からご冥福をお祈りしますとともに、みどり小学校の礎を築かれたご功績に対し、改めて尊敬の念を感じているところでございます。

さて、一年間を振り返りますと、毎度のことながら「あつという間」という言葉が出てきます。あつという間に一日が終わり、一週間が過ぎ、一年が経ってしまうのです。本来なら一つ一つの教育活動をもっと計画的にそしてじっくり考えながら進めていきたいところですが、次々と新たな目標や課題が押し寄せてくるのが現状です。

特に今年度は、JRC、特別支援教育、外国語教育の3つの研究会の会場に指定され、多くの教育関係者に授業を公開しました。切迫したスケジュールの中、それでも全ての研究会で好評をいただいたことは、子どもや教職員の頑張りと保護者や地域の皆様の温かいご理解とご支援の賜物です。

この冬号のメインタイトルを「心から感謝」とさせていただきました。

「PTA活動をふりかえって」 PTA会長 白方 仁

会員の皆様には、一年間、PTA活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。お蔭をもちまして、平成29年度も充実した活動を行うことができました。心よりお礼申し上げます。

私は、PTA活動を通じて、多くの「みどりっ子」と接する機会があります。入学した時、大きなランドセルを背負った可愛い姿から、卒業する頃には下級生のお世話ができる頼もしい姿になります。成長していく「みどりっ子」を同じ地域の大人として身近に感じることができました。また、多くの方々の支えによって活動が成り立っていること、そして、人との「出会い」や「つながり」の大切さを実感しています。

PTA活動は、保護者の皆様、先生方、地域の皆様のご協力なくしてはできないことばかりです。今後も、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

PTAは、親(Parent)と教師(Teacher)の組織(Association)で協力して子どもの健全な成長をはかることを目的としています。

今後も、さかんにおこなわれているPTA活動を「風みどり」とおしてみなさんにお知らせしていこうと思います。



4年部 ゆめみどりエコ大作戦

四年生は、総合的な学習の時間に環境学習に取り組みました。

一学期は、市之井出浄水場と黒瀬ダムを見学し、きれいな水が簡単に使えるありがたさや水は限りある資源であることを学びました。

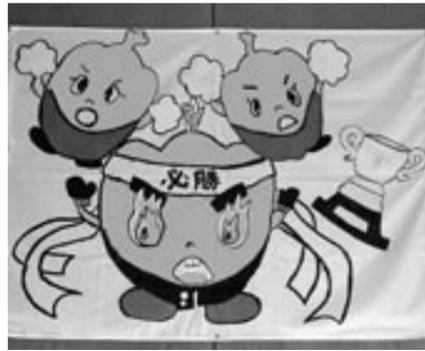
二学期には、南クリーンセンターを見学し、一人一人がごみを減らすことで、お金の節約だけでなく、地球温暖化を防ぐことができることを学びました。また、「エコ学習会」に参加し、電車やバスを利用する体験から、エコな交通手段を学びました。これらの学習を通して、「節水しよう。」「3Rしよう。」など、自分たちにできることを一つでも多く実践しようとがんばりました。そして、生活を支えてくれている人たちに感謝の気持ちももちました。いつも前向きな気持ちでたくさんさんの学習を吸収してきた四年生。高学年に向けて着々と歩んでいます。



アイスペンギン



ザ・雷オンズビクトリー



熱血パブリカ隊



5年部 仲間と共に成長

自然の家に行く前は、子どもも教師も不安でいっぱいでした。しかし、薪での火起こしに苦労しながら作ったカレーライスは最高の味。猛暑の中、巻き結びに格闘してようやくできた「いかだ」から、海に飛び込む子どもたちの歓声。火を囲んで、みんなで歌ったり、踊ったりしたキャンプファイヤーで味わった連帯感。親元から離れ、一回りも二回りも成長した姿を見せてくれました。

また、総合的な学習の時間の田植えや稲刈りは、お米を作る作業の大変さを実感し、お世話になった地域の人々に感謝の気持ちでいっぱいでした。

そして、九月から毎日猛特訓した毎日猛特訓した連合音楽会。当日は市民会館で、みんなが心を一つにして演奏することができました。

仲間と共に一歩一歩成長した五年生です。



「であい・ききあい・学
びあい」で育んだ
やさしく 思いやる心
いきいき 学ぶみどりっ子
たくましく 育て
たくましく 未来に 向けて

6年部 ふれあいたいむ「共に生きる」

総合的な学習の時間に、学級単位でグループホーム、松山盲学校、なかま作業所の方との交流を各二回行いました。そこで学んだことをグループでまとめ、パネルディスカッションで伝え合う場を設けました。

「社会の中でいろいろな立場の人と共に生きるためには」というテーマです。そこでは、各学級の代表者が交流の様子や自分の思いを生き生きと伝える姿が見られました。聞いた子どもたちからは「個性を生かし、私たちにできないことを上手にしている人がいると分かりました。」「相手のことを考えて工夫することで、みんなと生きていくことができる」と思いました。

「共生」の大切さを実感するすてきな学習となりました。六年生の心が、また一歩大人に近づいた時間でした。



特別支援部 元気に！ たくましく！

「朝の運動を始めましょう。」
「始めましょう。」
澄み切った空気の体育館に、子どもたちの元気な声が響き渡ります。山桃では、今年度から、毎朝五分間体力づくりを行っています。メニューは、ラジオ体操、ストレッチ、長縄、マラソンです。ラジオ体操はそれぞれの動きで、みんながピシッとそろえることを目指しています。ストレッチは体をほぐすことも心もほぐします。長縄は「えひめ子どもスポーツTITスタジアム」の八の字ジャンプに参加しています。現在、百四十六回まで記録が伸びました。マラソンは五分間続けて走っています。一年生も八週走れるようになりまし。

継続は力なり！
何事も続けることが大事です。朝の運動をきっかけに、自ら心と体を鍛える、たくましく、ほりっ子になってほしいと思います。



1年部 ありがとうの気持ちがいっぱい

ドキドキ、ワクワクしながら入学した九十一名の一年生。お姉さんやお兄さんを手をつなぎ、重いランドセルを背負って、登校しました。五月の運動会ではダンスや玉入れ、かけっこを力いっぱい頑張りました。どんな時も、自分の周りに支えてくれている人がたくさんいることに気が付き、ありがとうの気持ちが膨らんでいます。

「お手伝い大作戦」では、保護者の方にいろいろなコツを教えていただき、体験した後は、家族の一員として、自分のできるお手伝いに進んで取り組みました。学習では、平仮名・片仮名・漢字を使いこなし、自分の思いを伝える楽しさも味わいました。たし算やひき算の計算も速くなりました。

周囲の人々に支えられて、生き生きと歩んできた一年生。立派な二年生を目指して、たくましく成長しています。



2年部 「どんど焼き」地域と共に

「どんどやあ。どんどやあ。」
寒さを吹き飛ばす声が、校区いっばいに響きます。毎年一月に行われるどんど焼き。子どもたちは、事前にどんど焼きについて調べ、その由来などを一年生に教えたり、しめ飾りの収集を全校に呼び掛けたりしました。

一年生といっしょに炎の周りを回り、餅をほおぼる二年生。あどけなさの中にも、たくましさを感じられました。十月に稲刈りをした五年生や、早朝より、田にわらを積んで準備をし、お餅を焼いてくださった地域の方々への感謝の気持ちも忘れません。活動後の子どもたちは、充実感で一杯でした。

今年一年、みどり校区のみんが健康でありますように。字がきれいになりますように。すてきな友達と切さたく磨しながら、笑顔一杯の三年生になれますように！



3年部 地域の人との関わりを大切に

三年生は、総合的な学習の時間に「地域よさを伝えよう」というテーマで、地域の方と触れ合う学習をたくさん行いました。二学期には、地域の名人に弟子入りして、趣味や特技を学ぶ学習をしました。手品・手話・琴・紙粘土・折り紙・けん玉の各名人は、昨年度に引き続き、来ていただきました。新たに、詩吟と合気道の名人が加わりました。木工と詩吟の名人は、子どもたちの祖父に来ていただきました。名人に質問したりいろいろな技を学んだりしながら、楽しく活動しました。その後、発表会を開き、学んだことやできるようになった技を堂々と披露しました。

子どもたちの学習のために、来てくださった名人には、感謝の気持ちがいっぱいです。地域の人と関わりながら、ふるさと松山の上さや人々の温かさを学んだ一年間でした。





平成29年度 卒業おめでとう

6年生のみなさんに、「将来の夢」を書いてもらいました。



六年三組		井上 仁司 先生	
明日 望夏	河部 風花	田中 悠生	藤谷 柚那
朝来 優汰	川本 結惟	坪内 歩実	眞鍋末乃里
石崎 樹	黒田 輝	名本 菜広	三島 悠
今西 萌	後藤 未海	西岡 麻耶	矢野 義鷹
梶田 洸貴	白方 彩都	西谷 香音	山本 朱莉
加藤 愛菜	高橋 涼介	橋本 夢咲	矢野 恵太
河部 知飛	竹村 孟範	原 優太郎	

六年一組		吉田 旭 先生	
岩城 唯斗	五島 一磨	濱田みのり	横田 友幸
岩本 有紗	佐々木 凜	原田 侑奈	萬家 亜美
北岡 大雅	續 菜水	毛利 風華	三好 恵
勝間田洋輔	砂川 和仁	三井 麻矢	澤田 宏和
岩城 唯斗	近藤 絢香	西本 莉那	山本 愛心
今井 煌太	小松 絆力	長井 七音	山崎 志音
秋川 心那	長井 七音	山崎 志音	

外国語専科
東地 範子 先生

友達のよさに気付く目で、周りの人々を大切に。あなたも友達も「たったひとり大切な人」です。

音楽専科
秦 さゆり 先生

音楽と心には深い関係があります。いろいろな音楽に触れて幸せを感じ、心豊かに成長していつて下さいね。

理科専科
杉野 隆章 先生

「自然が分かる目」「不自然に気づく目」。時に立ち止まって、自然を意識してみましよう。

岡崎 菜央

美容師になって、いろいろな人のかみをすときに切って、笑顔にしたいです。

内田向日葵

子どもたちがあこがれるような保育士になりたい、かわい子もたくさんたくさん遊びたい。

浅野 天

スペインのリアルマドリッドに所属し、ゴールキーパーとして活躍したい。

あなたたちとの 出会いに感謝して

山桃 5
栗田 健一 先生

「ありがとう。」を伝えよう。挑戦しよう。たまに休んで。あしたはあした。今を生きて。

山桃 2
福島 良子 先生

ささいな事に感動する心や身近な人への感謝の気持ちを忘れず、頑張ってください。

山桃 1
石丸真理子 先生

「あなたに会えて本当によかった。そう思う瞬間がたくさんありました。思い出ありがとうございます。」

岩城 心希

母のような優しい保育士になり、たくさんの子どもたちと笑顔で遊んだり歌ったりしたい。

池田 秀勝

薬剤師になりたい。九才の時に入院して、その時に薬が大切だと思ったから。

忽那 直美 先生

ピンチはチャンス。辛い時、苦しい時にも希望をもって乗り越えてください。今のみなさんならできる！

岡崎 菜央

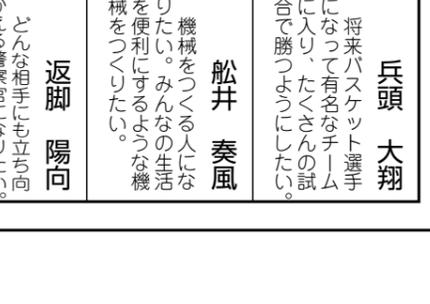
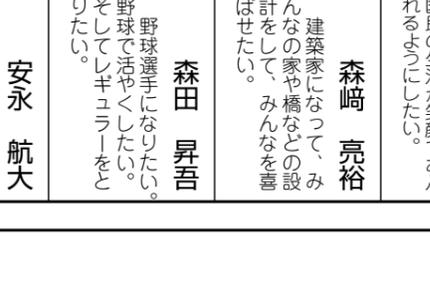
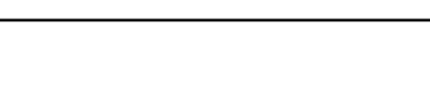
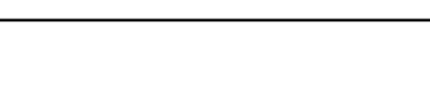
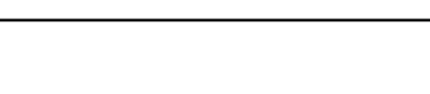
美容師になって、いろいろな人のかみをすときに切って、笑顔にしたいです。

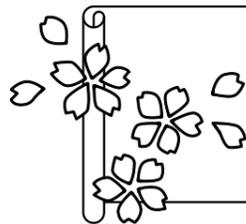
内田向日葵

子どもたちがあこがれるような保育士になりたい、かわい子もたくさんたくさん遊びたい。

浅野 天

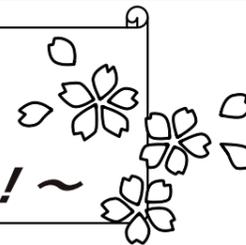
スペインのリアルマドリッドに所属し、ゴールキーパーとして活躍したい。





みどり小での 1年を振り返って

～今年度、赴任してこられた先生に みどり小学校の感想を聞いてみました!～



「みどりの縁」

教頭 浅野 浩重

私は、松山城より西側にある学校に勤務したのは、みどり小学校が初めてでした。正直不安な気持ちで着任しましたが、出迎えてくださった先生方や児童の皆さんの笑顔を見て、心が温かくなりました。「頑張るぞ」と一層やる気が湧いてきたのを思い出します。

オープンスペースの学校は二校目で、教室等の雰囲気がよく似ていて、とても懐かしく思いました。

P T A 役員の皆さん方も協力的で、学校行事やバザー、他校のP T Aの方々との交流など、とても楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

私のパーソナルカラーは緑色です。好きな色は緑色で、高校の時のスクールカラーも緑色です。この「みどり」の縁でつながりみどり小学校で充実した日々を送れたことに心から感謝しています。



「つながる」みどりっ子

楠 昂太

みどりっ子の明るい笑顔に迎えられた新任式から、あっという間に1年がたとうとしています。純粹で素直な2年生と出会って、すぐに運動会がありました。毎日、家でこっそりダンスを練習して、子どもたちの前ではあたかも最初から上手だったかのように教えたことを思い出します。

みどり小はオープンスペースなので、隣のクラスの楽しそうな笑い声や、元気な発表の音が聞こえてきます。また、他のクラスの前を通りかかったときに、悲しそうな子や、困っている友達に声を掛ける優しいみどりっ子の姿をたくさん見ました。学年や学級に関係なく、温かく人とつながれるみどりっ子の姿から、本当の人の「つながり」とは何かを学びました。今の時代は、少しおせっかいなくらいがちょうどいいのかなと感じます。そんなみどりっ子のみんなと、今後も楽しく充実した日々を送っていこうと思います。

谷松佑希子

みどり小学校に来て、あっという間に1年が経とうとしています。初めて松山市で勤務することになり、とても緊張した4月だったことを思い出します。みどり小学校は、各学年に広いスペースがあり、大きな学校だなと思ったことを今でも覚えています。そのよさを活用し、子どもたちと様々な活動に取り組みました。

3年生は総合的な学習の時間が始まり、地域の方から知恵や技を教えていただいたり、地域の見学をしたりして、寺や神社などについても学習しました。私も子どもたちと一緒に、話を伺ったことで、地域について初めて知ることがたくさんありました。いつも元気いっぱいかわいい3年生と過ごし、たくさんパワーをもらいました。初任者として、この1年学んだことを来年度にも生かしていきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひします。



中矢 嘉子

みどり小学校に赴任して思ったことは、教室や廊下、職員室が広いということです。教室が完全にオープンスペースの学校での勤務は初めてで、はじめは不安が多かったのですが、子どもたちにとってそれは、普通のことで、落ち着いて伸び伸びと学習に取り組んでいる様子に感心しました。四年生を担当することになり、多くの校外学習に行きました。四年生は、どの学年よりも電車やバスなどを利用して、学習に出かけることが多いので、公共の交通機関を利用するときのマナーも同時に学ぶことができました。

みどり小学校で、多くの教え子に出会うこともできました。お母さんになっていたり、立派に仕事をしていたり…。このような再会が教師として、本当にうれしく、改めて子どもたちと一緒に頑張ろうと思えるのです。

五年生の子どもたちと共に

葛原由美子

春に運動会をするのは、私にとって初めての経験でした。転勤して、みどり小学校のことが何も分からず戸惑うばかりでしたが、五年生の踊る「ソーラン節」が、だんだん上手になっていくのを見ると、とても元気づけられました。

また、五年生は地域の田をお借りして、田植えをしたり稲刈りをしたりしました。田植えや稲刈りのサポートをくださった地域の方々がとても優しく、子どもたちは幸せだなと感じました。

そして、十月の縦割り遠足、「みどりをさぐる」に参加して、豊かに実った稲の間を、背の順に歩いている子どもたちの姿を見て、地域の自然に恵まれ、地域の方々に支えてもらっている「みどり小学校」っていいなとつくづく思いました。



子どもと共に

金房 真紀

整然としたグラウンドに朝日が差し込む光景を見ながら「今日も一日がんばろう!」と一日がスタートします。

5年生と過ごした一年間を振り返ってみるとたくさんの事が思い浮かびます。「見る人を感動させよう!」と取り組んだソーラン節。日に日に子どもたちの踊りに心が入り、踊り切った後の自信にあふれた顔は今でも忘れられません。大三島自然の家では、子どもと共に筏からジャンプ!ジャンプ!ジャンプ!そして、子どもたちが炊いたご飯がなんとおいしかったこと。子どもたちがたくましく見えました。童心に返って遊んだ昼休み。けいどろでは、泥棒になり逃げる→捕まる→逃げる。の繰り返しでしたが、何度も助けてくれる優しい子どもたち。我を忘れて楽しんだ時間でした。子どもたちと過ごした一年間は私の宝物です。

一年を振り返って

藤田美智代

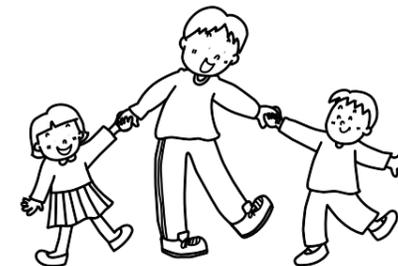
一年を振り返ってみると、みどり小へ赴任してきてからは、4月に何をしたのか記憶にないくらい、忙しかったことを覚えています。

みどり小では5月に運動会がありました。短い準備期間ながら、みんな一生懸命に取り組み、すばらしい運動会を開催することができました。子どもたちは、いつでも元気いっぱい、暑い日も寒い日も運動場を駆けまわっています。日々が飛ぶように過ぎるのは、みどり小での毎日が、充実している証拠だと思えます。これからも、飛ぶように過ぎる毎日を楽しみたいと思えます。



芳居 洋子

1月24日から30日は全国学校給食感謝週間です。全校児童で、給食カレンダーを調理場に送って感謝の気持ちを表すように計画しています。また、給食委員会はこの一週間に給食のクイズや給食の歴史の紙芝居や、野菜の歌やダンスをすることで、「食」について考える呼びかけをします。食べ物に感謝をするとともに関わってくれる多くの人に想いをはせる週間となればと思います。是非、御家庭でも給食の話や食べ物について話題にしていだければと思います。





卒業生クラス写真



六年一組

六年二組



六年三組



編集後記

皆様のご協力のおかげで、広報「みどり」第64号を発行することができました。
 発行にあたり、原稿や写真撮影にご協力いただいた皆様方に、心から感謝いたします。
 ありがとうございました。これからも、よろしくお願いします。 〈新聞委員会〉